

名 称	平成 25 年度 第 2 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成 26 年 2 月 25 日(火) 18:00~20:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 小倉 敬子 委員 ((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表 兼ファシリテーター) 高見沢 実 委員 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授) 橋本 淳 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課長 学校支援・連携担当課長 山本 秩朗 地域振興課 生涯学習支援係長 森脇 美也子 同 生涯学習支援係 佐藤 保 同 生涯学習支援係 川満 由佳 同 生涯学習支援係 平山 啓子
	協働運営会議	代表 小林 由美子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 常務取締役 岡部 禎之 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 島崎 康子 同 スタッフ 望月 智子
欠席者	和智 英人 委員 (社団法人 横浜青年会議所 顧問)	

議 題	(1)平成 25 年度下期 ほどがや市民活動センターの運営及び業務 (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成 25 年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員・名簿 2.平成 25 年度下期 ほどがや市民活動センター 事業報告書一覧 3.平成 25 年度下期 施設利用状況 4.平成 25 年度下期 事業報告書 5.平成 25 年度下期 街の学習応援隊 登録状況・活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成 25 年度下期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート 8. ほどがや市民活動センター評議会会則

*会議成立 委員 6 名中、5 名が出席。

ほどがや市民活動センター評議会会則第 8 条第 2 項に基づき、定数の過半数を充たし、本会議は成立した。

あわせて、H25 年度第 2 回評議会において、議長は小倉委員、副議長は浅井委員が選出されていることを確認した。

議題(1)平成 25 年度下期 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

- (1)-1 「平成 25 年度下期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」について報告
- * 場の提供⇒各団体が定期的な活動を行っている為、部屋利用、機材利用、印刷機など一定のリピーターを得る事ができ、活動の支援ができています。H25 年 10 月～H26 年 1 月、利用者数 7,755 名、稼働率 52.4%。また、利用者からの意見を参考に、今年度上期、和室に高脚座椅子を導入、また照明を追加し、利用しやすくした。和室の稼働率は、上期 33.3%に対し、下期 37.4%という結果でその後も利用率増につなげることができた。H25 年 4 月～H26 年 1 月末までの、利用者総数が 16,248 人、目標人数 19,000 人達成となる見込み。
 - * 情報の提供⇒アワーズの広報媒体(メルマガ、ホームページ、情報紙)を提供することにより、より広く利用者の拡大に結びついている。情報を提供する団体や施設との連携も図れ、登録団体の情報を提供することで、団体の活動支援につなげることができている。ホームページのアクセス件数も、昨年度同期に比べ増加している。(HP アクセス件数、H25 年 10 月～H26 年 1 月 37,577 件 月平均 9,394 件/昨年同期 31,416 件 月平均 7,854 件)
 - * 相談・コーディネート⇒H25 年 4 月～H26 年 1 月、相談件数 321 件/昨年同期 287 件。
- 【委員からの質問とアワーズからの回答】
- (質問)HP アクセス件数、9 月、10 月のアクセス件数が他の月と比較すると多い。何か要因はあるのか。
- (回答)検索キーワード「あなたの特技」「アワーズ」「保土ヶ谷」「ほどがや市民活動センター」、登録団体の名前の検索が多い。秋は「何かを始めたい」と動き出す方が多い結果ではないか。
- (質問)稼働率が低いように思える。学習の場が必要とされている世の中と相反しているが、どのような現状か。
- (回答)定期的な活動をしている団体が多く、アワーズを利用できない場合(抽選予約に漏れた)は、他近隣区民利用施設を利用される方も多い。日中の利用は、年々利用率は上がっており、夜間利用を含めると稼働率が低くなるのはやむを得ない。
- (質問)今後、夜間に連続講座を考えているとあるが、具体的な企画はあるのか。
- (回答)昨年度、夜間連続講座で囲碁教室を実施した。非常に好評だったので、内容を検討し、次年度に実施したいと検討している。
- 【委員からの意見】
- ・ホームページ上から講座の申込書式や部屋利用の申込書式をダウンロードできるようにしたらどうか。
- (1)-2 「平成 25 年度下期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「新たな担い手の視野を広げる」「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告
- * ボランティア入門講座⇒1 月 29 日、2 月 5 日、2 月 26 日実施。第 1 回目は、西部療育センターや養護学校の職員の方のお話を伺った。発達と障害について具体的なお話を聞け、参考になったと参加者からの声があり、今後の実習体験につなげることができた。
 - * シニアライフ講座⇒連続 5 回講座。第 1 回目は、横浜市陶芸センターにて、苔玉の器作りを体験。第 2 回目は、ファシリテーター竹迫先生のワークショップ「出会いの講座」を開催。第 3 回目、わら細工、第 4 回目、苔玉作り、第 5 回目、「まとめの講座」を実施。
 - * IT 相談会⇒10 月～1 月、毎週金曜、15 回開催、参加人数 171 名。定期的に利用される方もおり、リピーターの方も増えている。

* 団体カススキルアップ講座⇒2月28日(金)第1回「認知症サポート講座」、3月7日(金)第2回「大都市制度・横浜特別自治市講座」開催予定。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)シニアライフ講座、参加者が昨年度に比較し、減った理由は。

(回答)開催時期が、冬であった為であろうか。寒い時期に、横浜市陶芸センターに、外出することに躊躇された方が多かった。また、体調不良により、参加者のキャンセルが相次いだ為。昨年度は、秋に開催し、何かを始めたいという人々をうまくキャッチすることができ、参加者増につなげることができた。

(質問)シニアライフ講座の事業のねらいは何。

(回答)地域デビューの支援。人材の発掘。事後グループの活動支援。

(質問)団体カススキルアップ講座の目的は何。

(回答)団体の運営や人材、資金についての情報を提供し、団体力をスキルアップする事にあるが、今年度は、団体を運営する人にスポットをあて、人が生活していく上で必要な知識を与える事に趣向を変え実施。

【委員からの意見】

・シニアライフ講座、講座の組み立て方に工夫が必要。

・シニアライフ講座のチラシに、講師で参加する登録団体の紹介を、わかりやすく掲載してはどうか。いろいろなことを体験する中で、事後グループができやすいようなしかけをしてはどうか。

・以前、講座に参加された方達を巻き込んで、これからの事業にいかしてはどうか。

・プロボノの導入をしてはどうか。プロ、現役の起業家、コミュニティビジネスに興味のある方を取り込むしかけを検討してはどうか。

・団体カススキルアップ講座の名称やありかたを整理してはどうか。

(1)-3

「平成25年度下期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「交流の機会を創出する」を報告
*利用者交流会⇒10月1日、第2回利用者交流会「よこはま歴史散歩」参加者43名で実施。参加者同士の交流をうまく図ることができた。また、利用者交流会に初めて参加した方も多数あり、アワーズの事業や協働運営会議について改めて知って頂く機会を提供することができた。1月18日、第11回しゃべろうかい「「ひざ・腰」大丈夫ですか」実施。

*協働運営会議の事務補助⇒協働運営会議との連携をうまく図ることができた。

*生涯学習フォーラムへの参画⇒11月30日、12月1日まなぶん祭り開催。2日間で1,100名が来場。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)まなぶんまつりに来場し、その後利用につながったということはあったのか。

(回答)リサーチはとっていないので、わからないが、体験講座に参加し、その後、直接団体への参加につながっていることがあるかもしれない。

(質問)まなぶんまつりで参加団体の情報が載ったチラシを来場者に配付したのか。

(回答)配布したが、全ての団体のものではない。

【委員からの意見】

・利用者交流会のチラシに、講師や協力の登録団体の情報をもっと入れ、顔の見える関係をつくってはどうか。

・まなぶん祭りで参加団体の情報、チラシを来場者に配布してはどうか。このような団体が参加し、成り立って

	<p>いる祭りということを来場者へのPRに活用してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなぶん祭り会場内の喫茶、休憩スペースをもう少し広くし、参加者同士が交流しやすい場所として有効活用してはどうか。 ・まなぶん祭りに毎年来場しているが、非常のたくさんの集客がある。登録団体の活発的な活動の支援のかたちとして、非常に効果のある事業である。綿菓子も、集客に一躍かっておられ良い。 ・子育て世代のパパを対象とした講座を土日に実施してはどうか。 <p>(1)-4 「平成25年度下期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「街の学習応援隊」「区民利用施設との連携」を報告</p> <p>*街の学習応援隊⇒9月27日～10月7日「区民ギャラリー作品展」実施。多くの区民に見て頂き、アワード、応援隊について周知することができた。また、ギャラリーの搬入、搬出作業を通じ、応援隊同志の交流も図れた。10月27日「街の学習応援隊フェスタ」実施。また、交流会、研修会を2月23日に実施。</p> <p>*各施設との連携事業⇒11月2日・3日「今井地区センター・今井地域ケアプラザ祭り」開催。アワード相談コーナーを設置し、参画。11月10日「ほっしーのわいわいフェスティバル」星川地域エリア子育て支援連絡会として、アワードの概要パネル展示として参画。</p> <p>1月29日・2月5日・2月26日に、区社協、子育て支援拠点こっころと共催し、他施設と協働して、ボランティア入門講座を開催。</p> <p>*ものしりサプリメント講座⇒10月9日・10日「やさしく株式・投資信託を学ぶ」実施。NPO法人エイプロシスから講師を招き、2日間実施。参加人数29名。11月9日「はじめてのiPad」講座実施。登録団体「パソコンほどがや宿」と連携し実施。参加人数19名。</p> <p>【委員からの質問とアワードからの回答】 (質問)ものしりサプリメント講座の内容が生活に沿ったもので良い。この企画は、どのように立てているのか。 (回答)やはり生活に沿ったもの、時勢にあったものを取り入れている。また、利用者のご意見を参考にし、立案している。</p> <p>【委員からの意見】 ・社会で話題になっているものを取り入れ、講座を実施してはどうか。</p>
議題(2)	ほどがや市民活動センター 協働運営会議から
	<p>「ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成25年度下期 活動報告」に基づき、協働運営会議代表より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月1日、まなぶんまつり2日目、参画。 ・第11回「しゃべろうかい」(1月18日)開催。 ・団体カススキルアップ講座(2月28日、3月7日)実施。 ・下期全体会、3月29日開催予定。H25年度活動報告と、H26年度活動計画について検討。
課題(3)	評価シート記入
議題(4)	その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)

以上